



主催： 早稲田大学高等研究所
共催： SGU国際日本学拠点, 早稲田大学美術史学会
総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所
助成： 公益財団法人三菱財団2022年度助成
科研費 基盤C 「高次視覚野発達による自閉症のサブグループ化と認知行動特性・初期兆候の探索」

早稲田大学高等研究所「人新世と人文学」セミナーシリーズ 第4回

個人と社会の相互作用

人新世と人文学における認知神経科学の射程

本セミナーシリーズは、早稲田大学高等研究所「人新世と人文学」プロジェクトの一環として実施している。認知神経科学は脳から個人の認知・行動を理解することを目的とする分野である。特に機能的共鳴画像法(fMRI)は実験室で行う手法で、社会つまり自然や人々の営みという要素を取りこむことは容易ではない。しかし、文化が個人差に及ぼす影響を扱う文化神経科学や、社会との相互作用の中で生じる発達を扱う発達神経科学など、制約がある中でも脳を介して個人と社会との相互作用を解明しようという試みもある。第4回では個人から見えてくる社会について説明するとともに、人新世を考える上での認知神経科学の射程について議論する。

開催概要

開催日時： 2022年5月28日(土) 10:00-12:00

講演者： 原田宗子 (名古屋大学情報学研究科・特任講師)
岡本悠子 (早稲田大学高等研究所・准教授)

参加方法： Zoom開催 ※ 要事前登録

参加登録用QRコード



プログラム

10:00-10:05 開会挨拶： 山本聡美(早稲田大学文学学術院・教授)
10:05-10:45 講演： 原田宗子
文化神経科学的アプローチ：脳から見たヒトの価値観の多様性
10:50-11:20 講演： 岡本悠子
自閉スペクトラム症から考える脳機能発達の個人差
11:20-12:00 質疑応答・討論

講演者プロフィール



原田宗子：総合研究大学院大学生命科学研究科博士課程修了。博士(理学)。生理学研究所研究員、ノースウェスタン大学研究員、名古屋大学大学院研究員、生理学研究所特任助教、広島大学大学院特任助教、同大学脳・こころ・感性科学研究センター特任講師を経て2022年より現職。専門は認知神経科学。機能的磁気共鳴画像法を用いてヒトの様々な高次脳機能の神経メカニズムに関する研究を行っている。



岡本悠子：順天堂大学スポーツ健康科学部卒業、総合研究大学院大学生命科学研究科5年一貫制博士課程修了(生理学研究所心理生理学研究部門)。博士(理学)。鳥取大学研究員、福井大学助教、株式会社ATR-Promotions脳活動イメージングセンタ研究アドバイザーを経て2020年より現職。専門は、自閉スペクトラム症、認知神経科学、発達心理学など。発達の個人差に関する認知神経科学研究を行っている。